

2024年3月28日

森永乳業の育児ニュース『エンゼル 110 番レポート 93 号』

「2023 年年間統計」

相談内容は、「相談者自身」が「食生活」を抜き、48 年間で初めてトップに

森永乳業は、育児における実態や意見などをまとめたレポートを、1993 年 4 月から「エンゼル 110 番レポート」として発行しています。この「エンゼル 110 番レポート」は、育児相談窓口「エンゼル 110 番」への相談内容から、育児に関する傾向についてまとめています。

エンゼル 110 番は 1975 年 5 月に開設され、2024 年 5 月で 49 年を迎えます。2023 年は、新型コロナウイルスが 5 類に移行された 5 月以降、生活変化と対応に戸惑うお声が寄せられたのが印象的な一年でした。今回は 2023 年の年間統計をもとに、育児に関する傾向をレポートします。

【主な統計結果】

- 2023 年相談件数は 6810 件、1 ヶ月平均は 567.5 件。1 通話の平均時間は 18 分 26 秒と過去最長。2020 年より 4 年連続で再相談が新規相談を上回った。
- 認知経路は、「インターネット検索」が 65.3%と最多。その中の SNS では、「X(旧ツイッター)」やインスタグラムが 6.5%と増加しており、「友人・知人」からの口コミも微増。
- 相談対象年齢は、1 歳以上が全体の 68.6%と 7 割に迫る勢いで増加。
- 相談内容は、「相談者自身」が「食生活」を抜き、48 年間で初めてトップとなった。

◇エンゼル 110 番 電話相談運営概要◇

相談対象	妊娠中～小学校就学前まで
相談員数	16 名(管理栄養士、心理相談員など)
ウェブサイト	http://www.angel110.jp/

【本件・バックナンバーに関するお問い合わせ先】

育児に関する無料電話相談「エンゼル 110 番」フリーダイヤル 0800-5555-110

※受付時間：月～金曜日(土日祝日・年末年始を除く)、10～14 時

エンゼル 110 番ウェブサイト <https://www.angel110.jp/>

【本件に関する報道関係者のお問い合わせ先】

森永乳業株式会社 広報 IR 部 広報グループ 越・渡辺 TEL 03-6281-4682 ✉ pr@morinagamilk.co.jp
サステナビリティ推進部 大門

エンゼル 110 番レポート 93 号

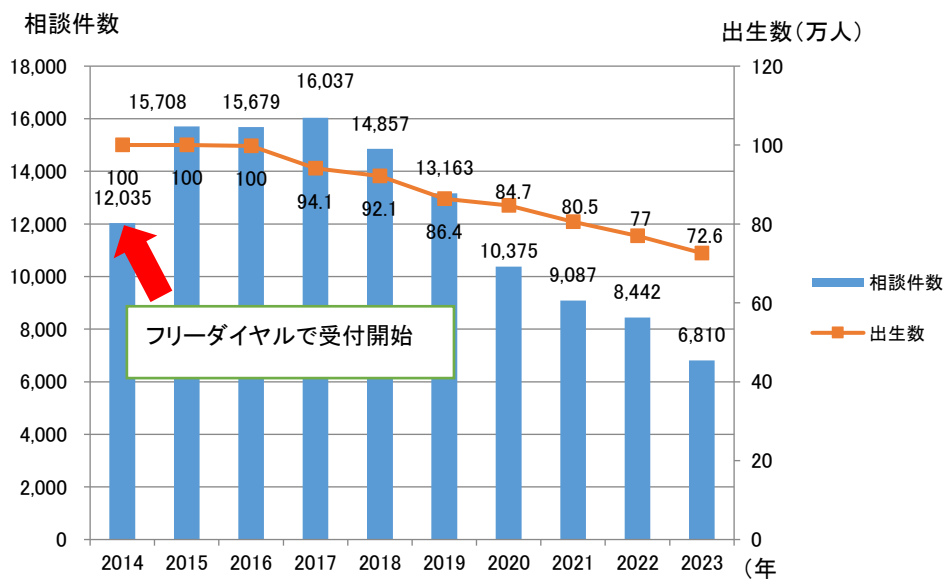
今回のテーマ「2023 年 年間統計」

相談件数は減少傾向。1 件当たりの相談時間は 18 分 26 秒と過去最長。再相談が新規相談を上回った。

2023 年、エンゼル 110 番で受けた相談件数は 6,810 件です(図 1)。1 ヶ月平均では 567.5 件(図 2)、1 日当たりでは 29.0 件でした。

1 件当たりの平均相談時間は 18 分 26 秒と昨年の 17 分 54 秒から長くなっています。相談数は減っていますが、相談時間は伸びており、中には 1 時間近くなるケースも珍しくありません。2020 年に初めて再相談件数が新規相談件数を上回りましたが、その傾向は 4 年連続で続き、2023 年は再相談件数 4,354 件(63.9%)、新規相談件数 2,456 件(36.1%)となりました。(図 3)

図 1 相談件数と出生数(2014~2023 年)



出生数参考: 政府統計の総合窓口(e-Stat)人口動態調査

図 2 月別相談件数(2023 年)

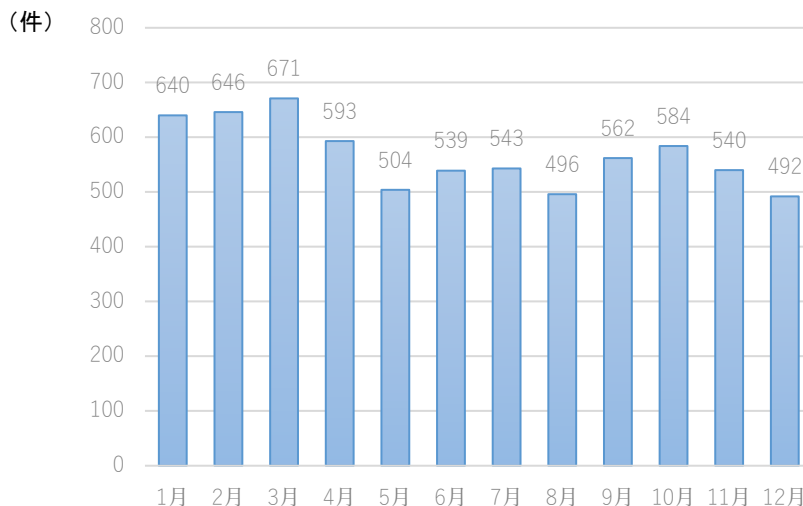
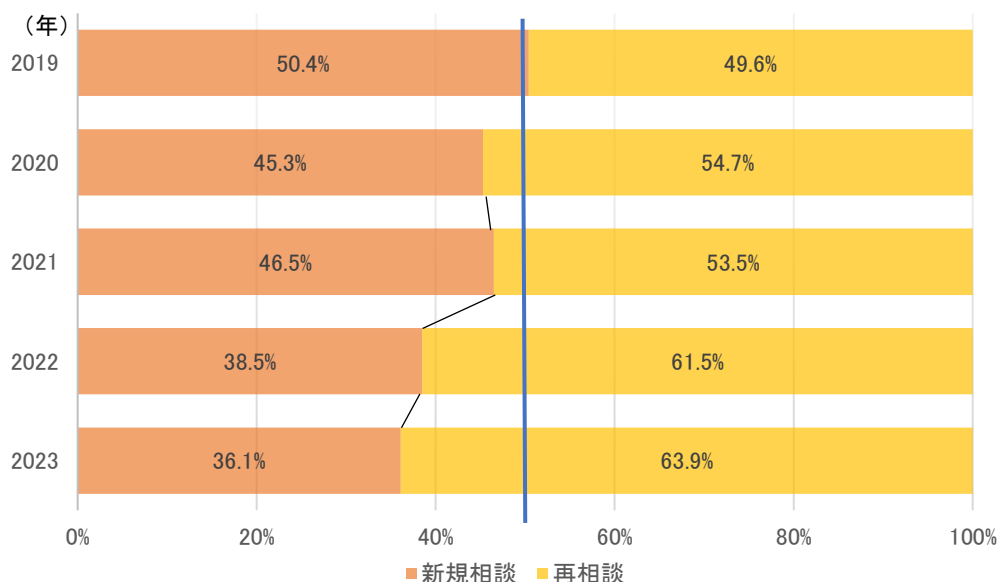


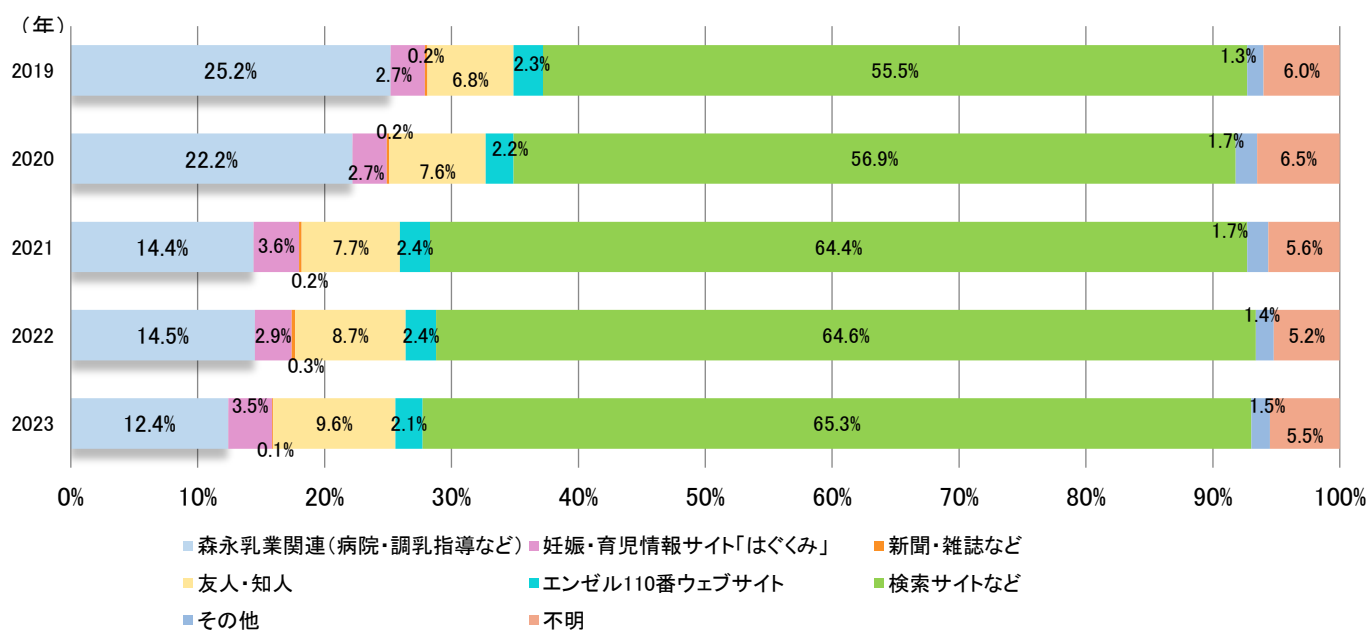
図3 新規相談と再相談の割合(2019～2023年)



認知経路は、インターネットで『無料育児相談』と検索が65.3%と6割を超える

エンゼル110番の認知経路としては、「検索サイトなど」が最も多く65.3%を占めました(図4)。インターネットでの検索が年々増加し続けています。中でもエンゼル110番を知ったきっかけとして「X(旧ツイッター)」「インスタグラム」を挙げる声も多くなっています。併せて「友人・知人」からの口コミも全体の1割にあたる9.6%と毎年徐々に増えています。コロナ過を機に、新生児への調乳指導や0歳児への栄養相談など、病院・調乳指導を介してエンゼル110番を知る機会は徐々に減っているようです。

図4 認知経路(2019～2023年)



ママからの相談が 95.2%を占めるも、パパからの相談も徐々に増加

相談者は 95.2%がママで、そのうち 30 歳代が 58.3%と 6 割近くになっています (図 5、6)。40 歳代の相談者は今年初めて 10%を超過しました。(図 6)

また、パパからの相談は 150 件と全体の 2.2%を占めています。パパの相談件数の記録を取り始めた 2004 年 (0.6%) から全体を占める割合は 3.7 倍に増えました (図 7)。パパが「育児休暇を取得した」「取得している」というお声も相談の中でたびたびお聞きしました。2023 年 5 月に新型コロナウイルスが 5 類に移行したことで、おじいちゃん・おばあちゃんから、久しぶりに会った「孫」のことや娘さんが里帰り出産するなどの相談が増えた印象がありました。

図 5 相談者の属性(左:2004 年、右:2023 年)

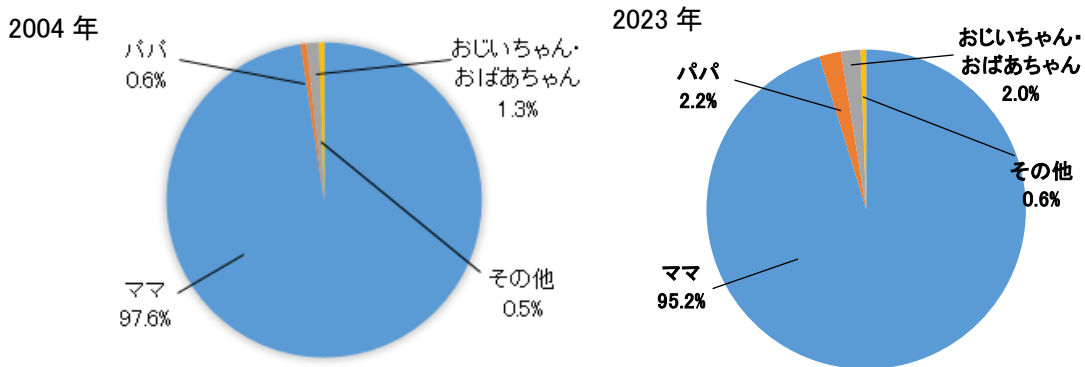


図 6 ママの年齢推移(2019~2023 年)

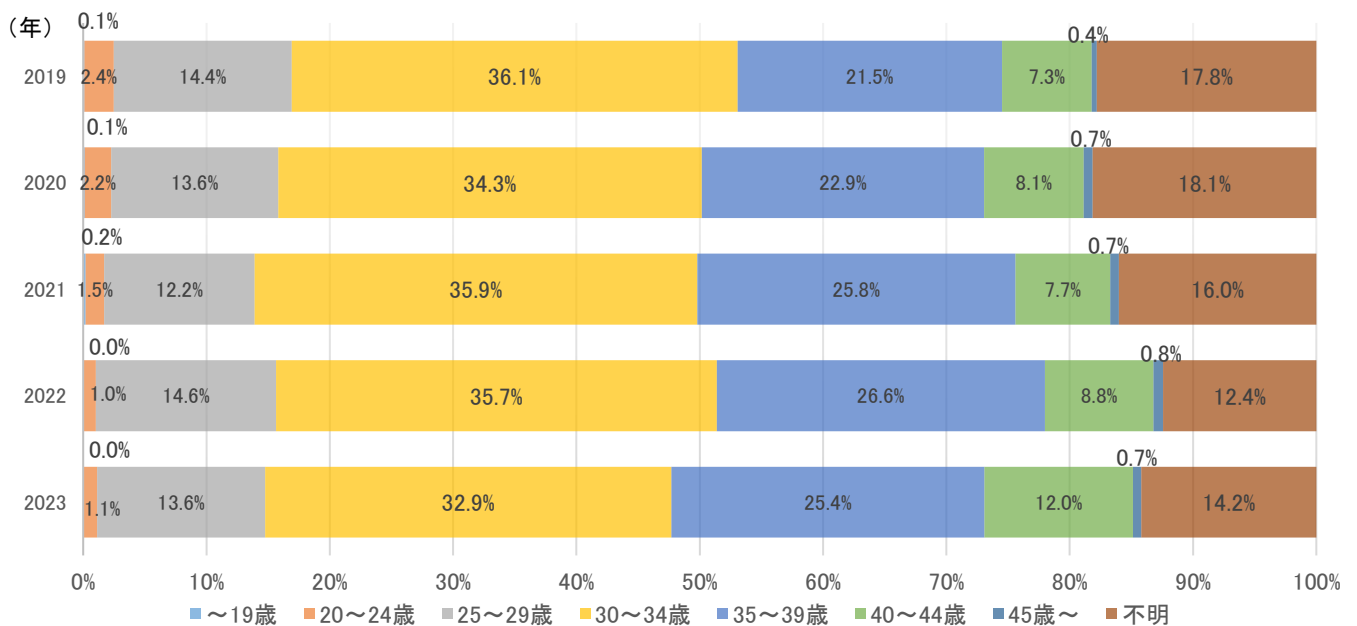
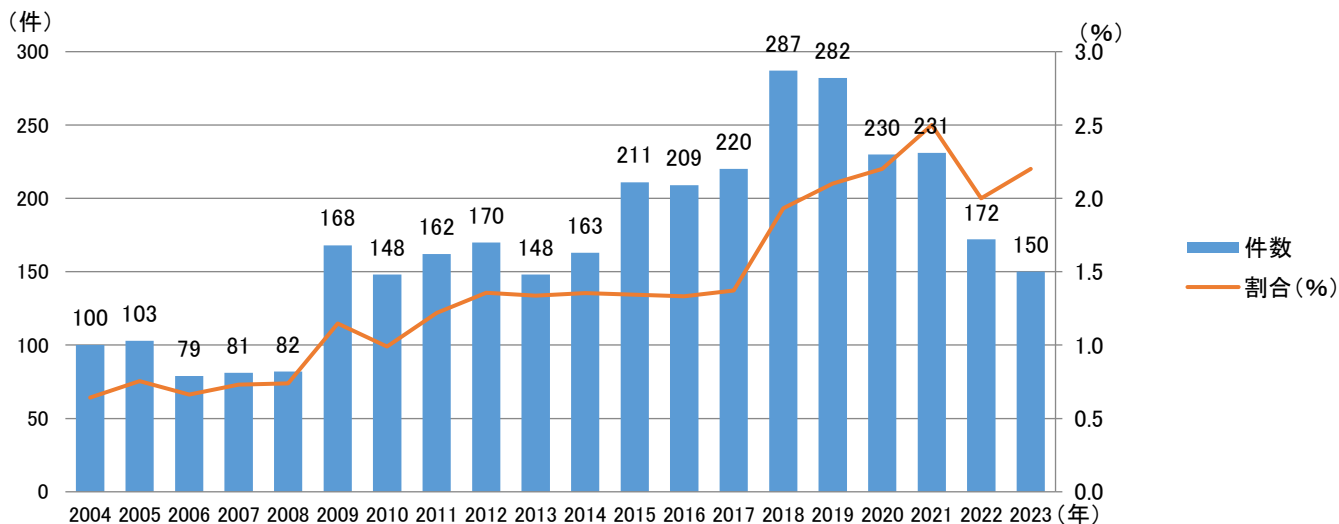


図7 パパの相談件数と割合(2004~2023年)



相談対象の子どもの月齢・年齢では、1歳以上の相談が7割近く

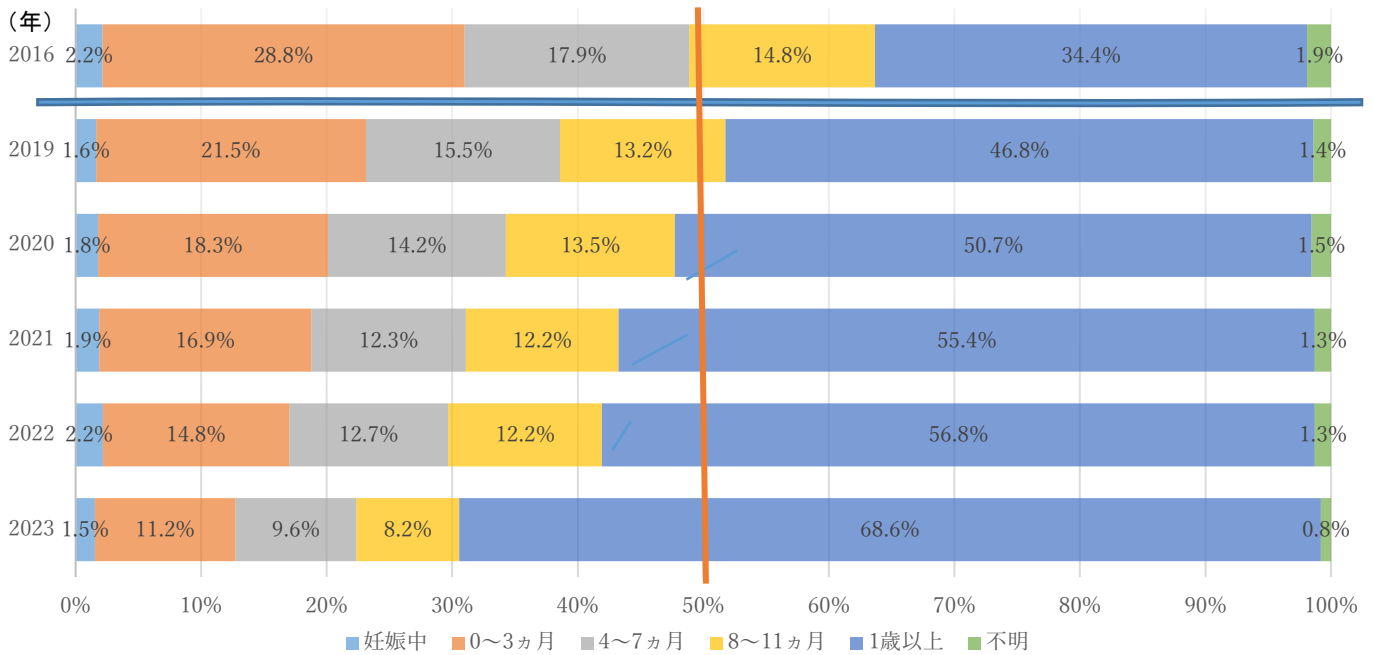
相談対象の子どもの月齢・年齢では、1歳以上の相談が68.6%と7割に迫ろうとしています。対して月齢0~3ヵ月までの低月齢の相談が11.2%と開設以来最も少なくなりました。開設から2015年までの40年間はこの0~3ヵ月までが常に全体の3分の1を占めトップでしたが、2016年に1歳児以上と逆転して以降、減少が続いています。新生児への調乳指導や0歳児への栄養相談など、エンゼル110番を知る機会がコロナ過を機に少なくなったことも影響していると思われます。(図8)

■ パパからの相談例

昨今、産後のママと同様に子育てで気分が落ち込んだり体調の悪さが続いたりすることを「パタニティブルー(造語)」ともいいます。「ママのサポートをどうしたらよいか?」「ママが産後うつではないか」という相談や、パパ自身が主体的に育児に関わっているからこそ寄せられる相談だと考えています。

- ・ 食べない、体重が平均より少ないのでこれ以上減ったら、と心配。保育園では食べていて、家ではのど越しのよいうどんは食べる。ご飯は途中でいらぬ、となる。
- ・ 水道に直接ついているウォーターサーバーで調乳している。お湯の温度は93℃、浄水の水を足して冷ましてもよいか?
- ・ ミルクを飲まなくなって夫婦で困っている。飲まない子どもに向かって怒ってしまい自己嫌悪。
- ・ 今仕事をしていないので子育てと家事をしている。夜中に泣いたときの対応が大変。
- ・ 帝王切開で出産した妻が、泣き止まない赤ちゃんをスクワットであやしている。帝王切開した母体に影響がないか心配。
- ・ 子育てをしていて、イライラすることが多いと妻から指摘された。どうしたらイライラしなくてすむか?
- ・ 二人目が誕生するので育休をとった。入院中は上の子の世話で気が紛れていたが、妻と下の子が退院してきたら言葉にできない不安を感じるようになった。「社会の中の孤独」のようなものだと思う。

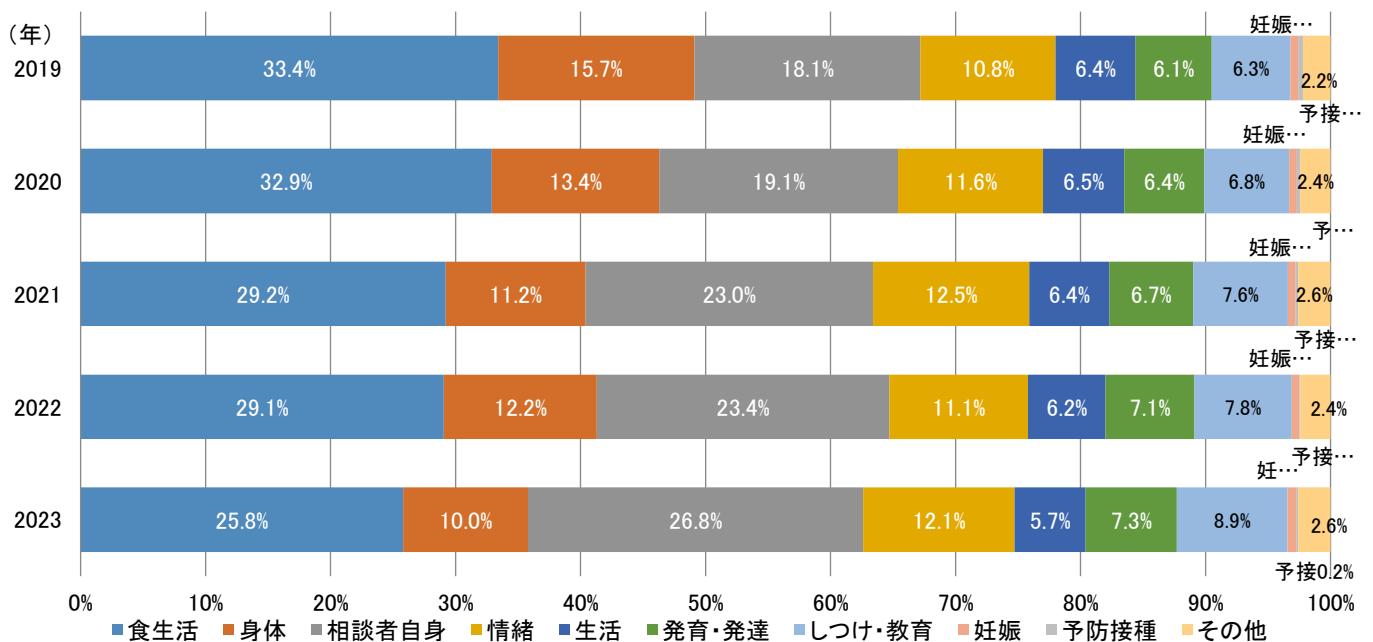
図 8 子どもの月齢・年齢の割合の推移(2016年、2019～2023年)



相談内容は「相談者自身」が 26.8%、「食生活」の 25.8%を抜いてトップに

エンゼル 110 番開設以来 48 年間相談内容で常に 1 位だった「食生活」を抜き、今年「相談者自身」が 1 位になりました。「相談者自身」の内容としては、相談者と子どもの関係や相談者自身のメンタルに関する相談が増えています。また、「赤ちゃんを小さく生んでしまったから沢山食べて大きくなってほしい」「自分の離乳食がうまく作れていないのではないかな」といった相談者自身の「気持ち」がベースになっている食生活に関する相談が多いことも「相談者自身」の相談件数の増加に繋がっていると感じます。低月齢の赤ちゃんに多い授乳後に母乳やミルクを勢いよく吐いてしまう吐乳(とにゅう)、口からたらたらと流れるように出す溢乳(いつにゅう)、そして便、皮膚などの「身体」に関する相談もインターネットで情報が得られるためか減少傾向です。「しつけ・教育」が昨年から増えているのは、コロナ禍で短縮や登園自粛になっていた保育施設が通常保育に戻ったことから、「わが子の園での過ごし方が気になる」「イベントで見た様子が不安」など幼稚園や保育園に関する相談が増えたためと思われます。(図 9)

図 9 相談内容の割合の推移(2019～2023年)



新型コロナウイルスが5類へ移行した後に受けた相談の特長

2023年は、5月より新型コロナウイルスが5類に移行されたことから「4年振りの」というワードがよく聞かれました。移行した頃は、マスクに関する事で「園にマスクなしで行かせたら、子どもが顔を見せるのが恥ずかしいと言う。子どもの気持ちを優先したほうがよい?」「幼稚園からマスクの着用を求められる。感染対策に疲れた」「マスクをしていない人が増えて感染症が心配」などの相談が入りました。その後、コロナウイルスやインフルエンザ以外の発熱や感染症への対応で「ヘルパンギーナに感染した。尿が減ったような気がして脱水が心配」「RSウイルスの診断後、離乳食を食べなくなった」などの相談が多く入りました。最初は戸惑う様子も見られましたが、夏以降の相談では、里帰り先での出来事や友人が遊びに来る様子が伺え、往来することを迷う相談はなくなったと感じました。また、イベントも全面解禁になり「プールから帰らない」「ラジオ体操が楽しみすぎて早朝に起きる。そのため終わった後眠くてママに当たる」といった親子の駆け引きの相談もありました。子育ての環境としては楽しいことが増えていて、相談を受けていても気持ちが外に向いている方が増えた印象です。

相談例

- ・ 息子夫婦が帰省の予定。実家以外にも他県の曾祖父のところや、お墓参りをする予定を立てていることを伝えられた。「赤ちゃんの負担を考えると反対だ」と意見したが無視されてしまった。(祖母 4カ月)
- ・ 夏の帰省のことで迷っている。選択肢は飛行機、フェリー、来年に延期する、の3つがある。移動することで病気にかからないか、飛行機で耳に異常がでないかが心配。(母 4カ月)
- ・ コロナが落ち着いてくれば以前の生活に戻ってくると期待していたが、秋になっても住んでいる地域の保育園や幼稚園では行事がない状態が続いている。行事が復活している地域に引っ越ししかない?(母 5歳)
- ・ 年末の帰省のこと。久しぶりなのでパパが予定をぎっしり詰めた提案をしてきた。さすがにハードスケジュールで子どもが疲れそう。「次の機会に」と言っても聞いてくれず、困っている(母 8カ月)
- ・ 年末年始に実家に帰省する。離乳食の新しい食材は戻って、かかりつけ医に受診できるようになってからでもいい?急いで食材を増やしたほうがよいのかわからない。(母 6カ月)
- ・ 下の子が上の子から感染したRSウイルスで重症になり、入院一歩手前までいった。感染中自宅でもマスクをつけていなかった上の子を責めてしまい自己嫌悪。(母 4歳、1歳6カ月)
- ・ 昨日、パパの友人が3人子どもを連れて遊びにきて、そのうちのひとりが咳き込んでいた。RSウイルスや他の病気で、もし子どもにうつしたらと考えると心配。(母 2カ月)
- ・ 通っている幼稚園では「発熱したら受診は任意」と聞いていたのに、そうではない雰囲気。発熱外来の予約の電話がつながらず困る。(母 6歳)
- ・ 高熱がでて受診したら、インフルエンザでもコロナウイルスでもなかった。看病するのに気をつけることはありますか?(母 3歳)

※()は、相談対象の子どもからみた相談者の続柄、相談対象の子どもの月年齢

まとめ

私たちの生活環境は大きく変化した時期もありますが、2023年は、コロナ前の生活に戻ったように感じます。通常モードに戻っても子育てをする方の気持ちが変わったわけではなく、引き続きエンゼル110番の相談員がお話を伺わせていただくことで、相談者のお気持ちをサポートができるように努めます。

複数回ご利用の方からは「来月から小学生になります。今まで無理だな、と思うときもエンゼル110番に電話して救われた。長い間お世話になりました。」「エンゼル110番の考え方が前向きで『その子の成長を見守る』という姿勢を相談員の皆さんで共有していて、元気をもらえる」「離乳食の相談をしたときに丁寧に対応してもらった。少しずつ食べるようになり、もっと早くお礼が言いたかったのに遅くなってしまった」「いつも寄り添って話を聞いてくれてありがとうございます」とお礼の言葉を多数いただきました。

以上

エンゼル 110 番レポートのバックナンバー

1993年4月	第1号『離乳食』
1993年7月	第2号『初めての泊りがけ旅行』
1993年10月	第3号『胎教』
1994年1月	第4号『お年玉』
1994年5月	第5号『夫の育児参加と妻の満足度』
1994年8月	第6号『妊娠中の食事について』
1994年11月	第7号『育児雑誌を読みますか』
1995年2月	第8号『早期教育は必要ですか』
1995年5月	第9号『赤ちゃんのアレルギー、気になりますか』
1995年8月	第10号『どんな出産をしましたか』
1995年10月	開設20周年記念冊子『60万件の電話相談から』
1996年11月	第11号『子育て費用をどう考えますか』
1996年2月	第12号『子どものことを夫婦で話し合っていますか』
1996年10月	第13号『赤ちゃんをだっこした経験ありましたか』
1996年12月	第14号『理想の父親像と母親像』
1997年4月	第15号『子育て中のお母さんの自由時間』
1997年6月	第16号『子どもを預けたことはありますか』
1997年9月	第17号『子育て中のストレス解消法』
1997年12月	第18号『かかりつけのお医者選び』
1998年4月	第19号『“格好いいお母さん”が当たり前？』
1998年6月	第20号『35歳からの子育て』
1998年9月	第21号『これからはママもパソコン使います』
1998年12月	第22号『35歳からの子育て パートⅡ』
1999年3月	第23号『実家とどうつきあっていますか』
1999年6月	第24号『子どものアレルギーについて』
1999年9月	第25号『子ども連れのお母さんが見た街作り』
1999年12月	第26号『子育てが楽しいと感じる時』
2000年3月	第27号『離乳食は得意ですか』
2000年6月	第28号『子育て仲間はどこで見つけましたか？』
2000年9月	第29号『子連れで海外旅行に行きましたか？』
2000年10月	開設25周年記念冊子『医療関係者向アドバイスブック』
2000年12月	第30号『私たちのミレニアム・ベビー』
2001年3月	第31号『ママたちのIT革命』

2001年6月	第32号『子どもが生まれて夫婦関係が変わりましたか？』
2001年9月	第33号『妊娠してからの食生活の変化』
2001年12月	第34号『絵本の読み聞かせをしていますか』
2002年3月	第35号『育児日記をつけていますか』
2002年6月	第36号『ママたちの再就職事情』
2002年9月	第37号『テレビやビデオをどのように見せていますか』
2003年1月	第38号『夫の育児参加と妻の満足度（その2）』
2003年4月	第39号『子育てにインターネットを活用していますか？』
2003年7月	第40号『子育てコストとママの生活満足度』
2003年12月	第41号『ママたちの育児スタート 一産後に望む支援サービス』
2004年4月	第42号『子育てママの喫煙・禁煙』
2004年9月	第43号『信頼できる育児の情報源とママたちの満足度』
2004年11月	第44号『ママたちの産院選びと立ち合い出産の実態』
2005年3月	第45号『妻の実家・夫の実家、どう付き合っていますか？』
2005年7月	第46号『赤ちゃんのアレルギー・気になりますか？』
2005年11月	第47号『赤ちゃんをだっこした経験ありましたか？』
2006年4月	第48号『子育てママの携帯電話活用法』
2006年7月	第49号『子ども連れで初めての泊りがけ旅行』
2006年11月	第50号『子どもは何人ほしい？』
2007年2月	第51号『子どもに習い事をさせますか？』
2007年8月	第52号『「3歳児神話」をしていますか？』
2008年1月	第53号『子どもを預けたことがありますか？（その2）』
2008年4月	第54号『「お母さんになったな」と初めて感じたのは？』
2008年9月	第55号『結婚前の料理経験はどれくらいですか？』
2009年1月	第56号『ここが困った！子連れ外出事情』
2009年5月	第57号『不況に負けない！ママの明るい節約術』
2009年9月	第58号『孫育て』
2009年11月	第59号『ママ友とのおつきあい、どうしていますか？』
2010年5月	第60号『夕食の献立どうやって考えていますか？』
2010年8月	第61号『子育て支援で、本当にしてほしいことは？』
2010年11月	第62号『パパはイクメンですか？』
2011年2月	第63号『35年で変わったこと、変わらなかったこと』
2011年5月	第64号『育児日記をつけていますか？』
2011年9月	第65号『ママたちの節電対策』
2012年1月	第66号『今、大切にしたいもの』

2012年6月	第67号『育児で心配になったきっかけとその解決方法』
2012年11月	第68号『子育てママのお正月』
2013年3月	第69号『名づけ』
2014年4月	第70号『赤ちゃんを抱っこしたことはありましたか?』
2014年12月	第71号『母乳への意識』
2015年4月	第72号『現代のママ事情』
2015年7月	第73号『「食べない子」「食べすぎる子」のママの悩み』
2015年9月	第74号『子育てしやすい街の条件』
2015年11月	第75号『働くママの気持ちと職場の理解』
2016年6月	第76号『ママたちが活用しているアプリは?』
2017年1月	第77号『結婚前の料理経験はどのくらいですか?』
2017年7月	第78号『なぜ、今「電話相談」なのか』
2017年11月	第79号『ママたちのストレスとその解消法』
2018年3月	第80号『2017年 年間統計』
2018年8月	第81号『ママたちの育児スタートは?』
2019年2月	第82号『2018年 年間統計』
2019年10月	第83号『ここが困った!子連れ外出事情』
2020年3月	第84号『2019年 年間統計』
2020年7月	第85号『コロナ禍で寄せられたママたちの不安と悩み』
2020年10月	第86号『離乳食-昔と今 ~変わったこと・変わらなかったこと~』
2021年3月	第87号『2020年 年間統計』
2021年11月	第88号『おうち時間の過ごし方』
2022年2月	第89号『2021年 年間統計』
2023年3月	第90号『2022年 年間統計』
2023年10月	第91号『アフターコロナの子育てや生活について』
2024年2月	第92号『子育て支援で求めるもの』